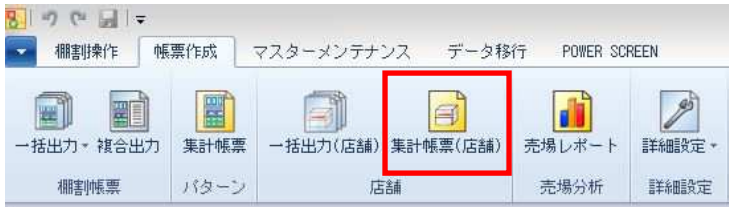


7-4 店舗の陳列商品を確認する(採用商品を確認する)

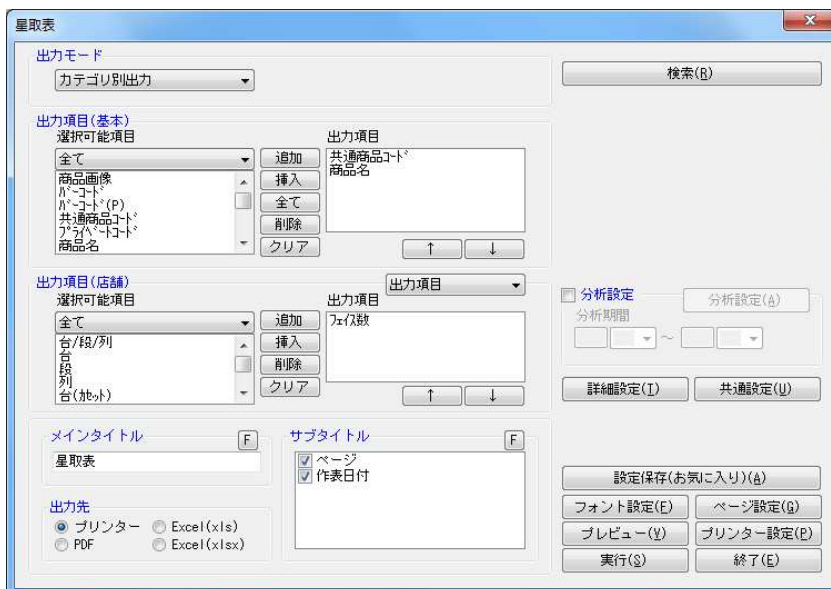
概要

集計帳票(店舗)では店舗で採用している商品を確認できる「星取表」を出力することができます。
星取表は1店舗だけでなく、複数店舗を同時に表示させて採用している商品を一覧形式で確認できます。

起動方法



操作方法



1. [帳票作成] - [集計帳票(店舗)] を選択します。
2. 集計帳票(店舗)画面の[基本]タブより「星取表」を選択して[選択]をクリックします。
3. 検索画面で出力対象となる部門、カテゴリ、店舗を選択します。
4. どの時点での採用商品を確認するかを棚割変更日で設定します。

現状	本日日付以前(本日日付を含む)で過去直近の情報を対象にします
入力日の直近過去	入力日付以前(入力日付を含む)の過去直近の情報を対象にします

[閉じる] を選択して検索画面を閉じます。

5. 出力モードを設定します。

カテゴリ別出力	明細をカテゴリ毎に分けて出力します。
集計出力	明細をカテゴリ毎に分けず集計して出力します。

6. 出力項目(基本)を設定します。

選択可能項目より出力したい項目を選択して[追加]をクリックします。(もしくは出力したい項目をダブルクリックします)

7. 出力項目(記号)を設定します。

記号	商品が採用されている場合に記号(○)で表示します。
フェイス	商品が採用されている場合にフェイス数を表示します
出力項目	商品が採用されている場合に表示させる項目を選択します。 (選択可能項目より出力したい項目を選択して [追加] をクリックします)

8. 出力先から出力時の形式を選択します。
9. [実行] をクリックします。

■ 特記事項

- 出力後に [終了] や [×] ボタンで画面を閉じる場合に「今回の設定内容を次回にも適用しますか」と確認メッセージが表示され、[はい] を選択すると設定内容が保存されます。
- 出力対象となる店舗数や売場(カテゴリ)数が多いと出力にかかる時間が長くなります。
- 実施モデルの作成後、棚割モデル割付で店舗の割付がされていない場合は星取表を出力できません。
- すべての帳票に共通する設定は [共通設定] より設定できます。(詳細は仕様マニュアルをご確認ください)
- 星取表を出力する時の細かな設定は [詳細設定] より設定できます。(詳細は仕様マニュアルをご確認ください)
- 星取表の [詳細設定] より「棚割モデル割付状況も出力する」を有効にして設定すると店舗で採用されているパターンを同時に確認できる星取表が出力されます。(カテゴリ別出力のみ)
- 出力モードを「カテゴリ別出力」にされた場合、カテゴリコードの昇順で明細が出力されます。

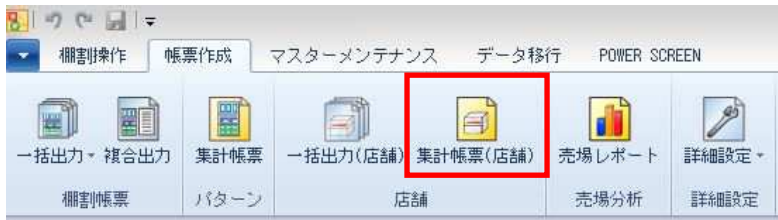
7-4 店舗の陳列商品を確認する(陳列商品を検索する)

概要

集計帳票(店舗)では店舗に陳列されている商品を検索できる「陳列検索」を実行することができます。

店舗とカテゴリ(売場)を指定して陳列商品を検索したり、検索したい商品の JAN コードを入力して店舗のどのカテゴリ(売場)に陳列されているかを確認できます。

起動方法



操作方法



店舗やカテゴリ(売場)を指定して陳列商品を検索する

1. [帳票作成] - [集計帳票(店舗)] を選択します。
2. 集計帳票(店舗)画面の[基本]タブより「陳列検索」を選択して[選択]をクリックします。
3. 検索画面で出力対象となる部門、カテゴリ、店舗を選択します。
4. どの時点での陳列商品を検索するかを棚割変更日で設定します。

現状	本日日付以前(本日日付を含む)で過去直近の情報を対象にします
入力日の直近過去	入力日付以前(入力日付を含む)の過去直近の情報を対象にします
入力日の直近未来	入力日付以降(入力日付を含む)の直近未来の情報を対象にします
範囲指定	設定範囲内の情報を対象にします

5. 検索条件で「全情報検索」に設定します。
6. 出力項目(基本)を設定します。
選択可能項目より出力したい項目を選択して[追加]をクリックします。(もしくは出力したい項目をダブルクリックします)
7. 出力先から出力時の形式を選択します。
8. [実行] をクリックします。

JANコードを入力して陳列場所を検索する

1. [帳票作成] - [集計帳票(店舗)] を選択します。
2. 集計帳票(店舗)画面の[基本]タブより「陳列検索」を選択して[選択]をクリックします。
3. 検索画面で出力対象となる部門、カテゴリ、店舗を選択します。
4. どの時点での採用商品を確認するかを棚割変更日で設定します。

現状	本日付以前（本日付を含む）で過去直近の情報を対象にします
入力日の直近過去	入力日付以前（入力日付を含む）の過去直近の情報を対象にします
入力日の直近未来	入力日付以降（入力日付を含む）の直近未来の情報を対象にします

5. 検索条件で「コード検索」に設定します。
6. コード検索の設定箇所コードの種類を設定します。
7. コードを入力します。

棚割モデル読込	作成した棚割モデルを選択して、陳列されている商品を読み込みます
ファイル読込	Excel や CSV ファイルに入力されているコードを読み込みます
貼り付け	クリップボードコピーされている JAN コードを貼り付けます

8. 出力項目(基本)を設定します。
選択可能項目より出力したい項目を選択して[追加]をクリックします。(もしくは出力したい項目をダブルクリックします)
9. 出力先から出力時の形式を選択します。
10. [実行] をクリックします。

特記事項

- 出力後に[終了]や[×]ボタンで画面を閉じる場合に「今回の設定内容を次回にも適用しますか」と確認メッセージが表示され、[はい]を選択すると設定内容が保存されます。
- 出力対象となる店舗数やカテゴリ（売場）数が多いと出力にかかる時間が長くなります。
- すべての帳票に共通する設定は[共通設定]より設定できます。（詳細は仕様マニュアルをご確認ください）
- 陳列検索を実行する時の細かな設定は[詳細設定]より設定できます。（詳細は仕様マニュアルをご確認ください）
- 検索時、棚割変更日の横にあるヘルプボタンより棚割変更日の詳細を確認できます。
- 変更項目（新規/追加/削除/位置変更/店舗内移動/フェイス変更/継続）は[詳細設定]内の出力変更内容より設定します。
[環境設定]-[棚割操作]-[変更内容]の使用設定により変更項目の表示が変わります。

新規	・ [環境設定]- [棚割操作] -[店舗保存処理で新規商品と追加商品を区別して求める]=無効の場合 基準情報の棚割変更日を基準に、直近過去情報と比較した結果、基準情報にしか存在しない商品 ・ [環境設定]- [棚割操作] -[店舗保存処理で新規商品と追加商品を区別して求める]=有効の場合 基準情報の棚割変更日を基準に、該当店舗の全棚割情報と比較した結果、基準情報にしか存在しない商品
追加	基準情報の棚割変更日を基準に、直近過去情報と比較した結果、基準情報にしか存在しない商品だが、該当店舗の他棚割情報には存在する商品
削除	・ [環境設定]- [棚割操作] -[店舗保存処理で新規商品と追加商品を区別して求める]=無効の場合 基準情報の棚割変更日を基準に、直近過去情報と比較した結果、比較情報にしか存在しない商品 ・ [環境設定]- [棚割操作] -[店舗保存処理で新規商品と追加商品を区別して求める]=有効の場合 基準情報の棚割変更日を基準に、該当店舗の全棚割情報と比較した結果、比較情報にしか存在しない商品
位置変更	直近過去情報と比較した結果、[台][段]が異なる商品
店舗内移動	基準情報の棚割変更日を基準に、直近過去情報と比較した結果、比較情報にしか存在しない商品だが、該当店舗の他棚割情報には存在する商品
フェイス変更	直近過去情報と比較した結果、フェイス数が異なる商品
継続	直近過去情報と比較した結果、変更がない商品